

カナモリ・スマートフォーム



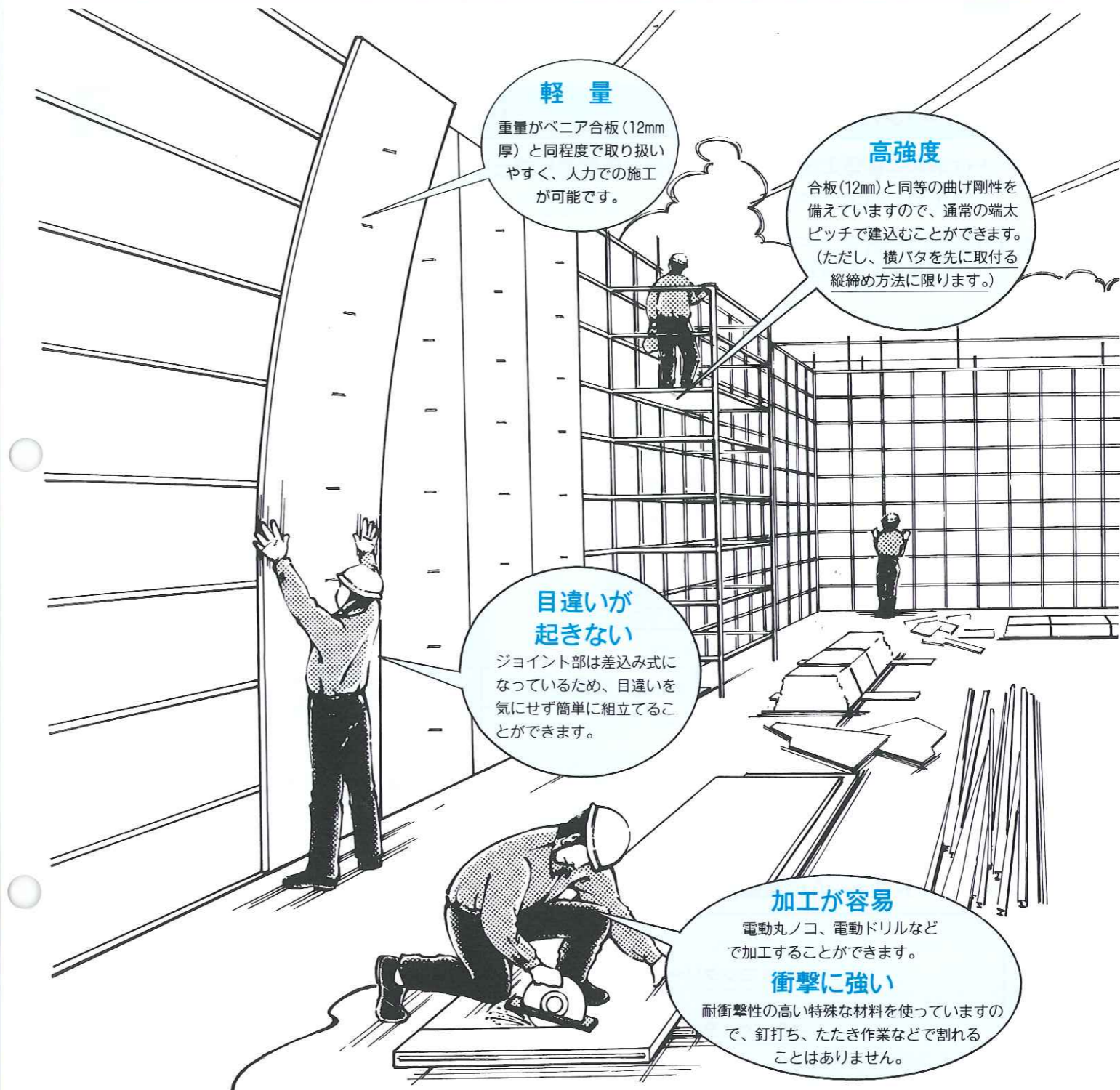
地下二重壁代替打込式型枠

特許 第2139831号

特許 第2897944号

カナモリ

スマートフォームの特長



軽量

重量がベニア合板(12mm厚)と同程度で取り扱いやすく、人力での施工が可能です。

高強度

合板(12mm)と同等の曲げ剛性を備えていますので、通常の端太ピッチで建込むことができます。(ただし、横バタを先に取付ける縦締め方法に限ります。)

目違いが起きない

ジョイント部は差込み式になっているため、目違いを気にせず簡単に組立てることができます。

加工が容易

電動丸ノコ、電動ドリルなどで加工することができます。

衝撃に強い

耐衝撃性の高い特殊な材料を使っていますので、釘打ち、たたき作業などで割れることはありません。

その他の特長

躯体防水性能を高める

●スマートフォームに貼られた特殊不織布がフレッシュコンクリートの余剰水を排出し、コンクリートの表面性状を上げ、躯体自身の防水性を高めます。

下地材として使える

●コンクリート打設後は、そのまま仕上げ用の下地材として、各種ボード類のビス施工、GL工法の施工など、様々な仕上げ工事が可能です。

コンクリートクラックの緩衝機能

●コンクリートとスマートフォームとはクラック緩衝機能のある特殊不織布で結合するため、コンクリートにクラックが発生してもパネルにひびが入ったり、剥れ落ちたりすることはありません。

断熱性能

●2重の空気層を持っているため、ウレタンフォーム吹付で約10mm厚相当の断熱性があります。(ご使用条件により結露対策が必要です)

ビルの高機能化、土地の有効利用などから、今後建築物の地下需要は年々増大することが予想されます。

その際必要となる地下壁防水には、作業スペース、工程などの問題から、躯体の内側に防水槽を設ける内防水がよく採用されています。特に、地下内壁二重壁工法は、確実且つ実績のある方法として広く採用されてきました。然し、二重壁の施工は躯体コンクリートの施工に伴う型枠の組立解体作業や内壁施工に伴う二重壁施工作業等多くの工程で構成され、中でもブロック積み作業は、方法上多くの日数を必要とするだけでなく、最近では、ブロック積み職人の確保が困難になってきており、合理化、省力化が必要な工程の1つとなっています。

これらのニーズに答える為、カナモリでは、材料・工法面での研究に着手し、その成果として二重壁を不要とする全く新しいタイプの二重壁代替打込式型「カナモリ・スマートフォーム」を開発いたしました。

ぜひ「カナモリ・スマートフォーム」をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

カナモリ・スマートフォーム

■ 総目次

- スマートフォームの特長 1
- Ⅰ. スマートフォームを用いた地下壁防水工法の特長 2
- Ⅱ. 製品仕様 5
- Ⅲ. スマートフォーム施工関連材料一覧表 6
- Ⅳ. 仕様決定と施工の流れ 10
- Ⅴ. 標準施工法
 - 1. 標準施工図 11
 - 2. 内装仕上例 15
- Ⅵ. 基本性能
 - 強度計算例 17
- Ⅶ. スマートフォーム仕様上の法的規制 18
- Ⅷ. 警告と設計、御仕様上の注意事項 19
- 施工例